事業所名

多機能型通所支援A-ZKID' S

支援プログラム (参考様式)

作成日

2025 年

3 月

11 日

法人 (事業所) 理念		利用者やご家族の物心両面の豊かな人生を支援する・縁ある人を幸せに導いていく。								
支援方針		個別・小集団での支援を実施し、生活能力の向上に必要な支援を行う。機能訓練担当職員と密に連携をはかり、支援方法の擦り合わせや必要に応じて保護者相談を行い専門性の高いサービスを提供していく。ご家族様や関係機関との連携を実施し、常に児童及びご家族様の立場に立ってサービスの提供を行う。								
営業時間		平日	11 時	30 分	から	17 時	30 分	送迎実施の有無	○あり	なし
		休日、長期休暇	11 時	0 分	から	16 時	0 分			
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	・毎日の健康管理と必要な対応を行います。子どもたちの小さなサインから心身の異変に気付けるよう観察を行います。食事・排泄・着替え・基本的な生活のリズムが身に付けられる用、時間での誘導声掛けを行い基本的技能の獲得・向上をめざします。								
	運動・感覚	・姿勢や運動・動作の向上。粗大運動(ジャンプ、ボール遊び等)を通して基本的な動作の向上をめざします。感覚過敏な子どもたちに配慮した環境設定や、感覚の特性に合わせた支援を行います。								
	認知・行動	・色や数字など様々な興味関心の幅を広げられるように活動を提供します。絵カード実物での視覚的な支援(スケジュール掲示)や時計やタイマーを使用した支援を行い、子どもたちに事前予告や1日の流れを伝えます。								
	言語 コミュニケーション	・絵カードやジェスチャーなどのサインを用いて、言葉以外でのコミュニケーション手段の獲得を支援します。言葉の表出や理解の幅を広げると共に、他者との適切なコミュニケーション方法の向上をめざします。								
	人間関係 社会性	・小集団での活動を通して、ルールや順番を守りながら他児童と楽しい時間を過ごせるよう支援します。他児童との適切な距離感を保てるよう声掛けを行い、良好な関係を築けるよう支援します。								
家族支援		・送迎時に随時情報共有すると共に、必要に応じて面談する場を設け、ご家族の不安や困りごとをへの相談援助を行います。コミュニケーションアプリを活用した迅速な情報伝達				移行支援		・学校や保育所・幼稚園・福祉施設と情報交換や担当者会議を行い、包括的な支援を行えるよう環境作りを行います。		
地域支援・地域連携		イベントへの参加や公共施設(公園等)の活用を通して地域との交流する機会を行います。				職員の質の向上		・事業所内研修(虐待・身体拘束・感染症)等に関する研修を実施・人権福祉の理解を深める研修・資格所得の研修講座		
主な行事等		・季節に関するイベント(夏祭り・クリスマス・お花見・ハロウィン)等・食育に関するイベント(ポップコーン・かき氷・ホットケーキ・焼きそば・スイーツ作り)等								